



筑波大学メールマガジン“ペデジャーなる” 2012年夏号

—OB・OGと学生を結びながら、懐かしさと新しさ香る筑波の風を季節の便りとしてお届けしていきます。

INDEX

1 今昔ペデ南下旅

—亀ちゃんが、ペデ沿いの景色をお届けする連載第五弾！
今回はますますきれいになった図書館・1学エリア♪

2 筑波大学ニュース

—筑波大学で来年度から始まる2学期制のガイドライン概要が発表された。詳細を追っていく。

3 ゆるっと、つくば～癒され手帖～

—連載第五弾！雨の中のふとした癒しを求め、梅雨をゆるっとやり過ごしながら、夏を待ちます。

4 国際総合学類、三十路です

—今年で設立30周年を迎える国際総合学類。だけどどんなところかよく知らない！？新メンバーが紹介しちゃいます！

5 つくば名店レポート

—だんだん暑くなってきた今日この頃…ゆったりとしたカフェで癒しのひとときはいかがでしょう。

6 留学生センターへの思い出

—日本人学生にはあまり馴染みのない留学生センター。でも留学生にとっては異国日本で安心できる場なのです。

7 懐かしのパン、鈴家

—みんな大好き鈴家のパン！多くの方々の思い出にも残っているであろう鈴家取材してきました！美味しそう…

1 今昔ペデ南下旅



梅雨の合間の貴重な晴れの日、私はさらに南下を続けています。メルマガも創刊1周年を迎え、2回目の夏号発刊となりました。この南下旅も連載5回目です。ありがとうございます！これからも皆様に懐かしさをお届けしていきたいと思います

さてさて今回やってきたのは図書館・1学エリアです。ここ石の広場から見える景色は私のお気に入りです。解放感溢れるこの景色を見ると心がスッキリしますし広大なキャンパスを持つ筑波大学の象徴的な風景にも思えます。石の広場と言えば、冬号でお伝えした「芝充」になれる場所。この日は芝生に寝転がってお昼寝をする学生がひとり。かなり芝充を満喫してますね。私もちょこっと仲間入りしてひなたぼっこ。そばに寄って来た小鳥が可愛くて、心も温かくなりました。



石の広場から。芝充の景色。静かな学内に噴水の音が眠気を誘います。

芝生の反対側にあるのが、5階建ての中央図書館です。広い館内には日本の大学でも有数の情報量を備えています。膨大な情報もさることながら、セミナー室や研究個室、スタディスペースと、勉学の場としても充実した場所です。ご存じでない方も多いかもしれませんが、2008年3月、図書館入口の隣にスターバックスがオープンしたのです。入学当時は「学内にスタバ…!？」とかかなりの衝撃でした。毎日、学生教員問わず賑わっています。



中央図書館。とても広い館内だから、かくれんぼしても見つからなそう…?

お値段的に中々手が出せない私としては羨ましい限りです。かれこれ1年以上行っていない気がしますが…。レポートを全部書き終えたら、自分のご褒美に買いに行こうかな。



1D棟前。はみ出してる上にここは交通量も多い！休み時間には渋滞発生…

2・3学は比較的広いイメージがあるのに対して、1学はいつも自転車で溢れているイメージがあります。特に1D棟の前は駐輪スペースからはみ出して停めてあることも。誰かが言っていました。みんな近くに停めようとし過ぎだと。

何も目の前でなくても、空いてるところに停めて少し歩けばいいじゃないか

と…。その通りです。もう少し頭を柔らかくしていきましょよ、筑波大生。とは言っても、駐輪スペースが少ないなと感じるのもまた、事実なのです。

ペデからちょっと寄り道をして…。実は4月に、ループ沿いの松美池前のバス停が舗装されました。文化系サークル会館から喫茶店らんぷのある交差点の手前まで、カラフルな石畳が敷かれています。以前は道幅も狭く、特に朝の登校時には歩行者と自転車が入り乱れて危険でしたが、今では混雑することもほとんどなくスイスイと走れます。自転車を利用する人が圧倒的に多い筑波大学ですが、その道路環境はあまり良くなかったり、また乗る人のマナーも悪かったり…。でも、自転車のすぐそばを走っていく車にもヒヤッとさせられたり。これを機にお互いのマナーが改善されると



松美池前バス停周辺。自転車で走るもよし、ゆっくり散歩するもよし

いいですね。

今回でキャンパスの半分あたりまでやってきました。改めて筑波大の広さを実感します。次回は筑波大学の中でも歴史あるエリアをご紹介します。

(人文・文化学群 日本語・日本文化学類 亀川かすみ)

2 筑波大学ニュース



今年5月、来年度より導入される2学期制移行に関するガイドラインの概要が発表された。

来年度より筑波大学で始まる2学期制の大きな特徴は1年を6つのモジュールに分ける点である。すなわち、春学期・秋学期をそれぞれA・B・Cの3つのモジュールに分け、1モジュール当たり5週授業を行い、これまでと同様年間30週の授業を実施する。1科目あたりの授業期間が5週、10週、15週のいずれかになることにより、これまでの10週×3学期制から15週×2学期制へのスムーズな移行を目指す。この改革を機に、開設授業科目の見直し・精選を行い、大学全体で授業科目数を約15%削減する見込みだ。また、1コマ75分という授業時間や科目単位数の変更は行わないものの、今後は学期完結型授業を原則とし、週1コマ×10週で1単位という規定が明確化される。さらに、夏休み期間を有効活用し、サマーセッション等の開催も積極的に行われる予定だ。こうした授業を効率的に行うため、教育情報システム等のウェブシステムも効果的に活用していく。同時に成績評定法も全体的に見直される予定で、多くの学生の心配の種となっている。

ここで私たち学生が成績や単位と同じくらい気になってしまうのが、学年暦だ。ガイドラインの情報を簡単に表にすると右のようになる。学年の始まりと終わりは変わらないものの、試験や長期休暇の時期はかなりずれてくる。これまでささやかながら存在していた秋休みは、2学期制移行によりなくなる見通しだ。また、毎年10月初旬に行っていた双峰祭の時期についても検討中だ

2学期制			3学期制	
春A	春学期	4月	1学期	
春B		5月		
春C		6月		
夏休み		7月	2学期	夏休み
秋A	秋学期	8月		
秋B		9月		
秋C		10月		
春休み		11月	秋休み	
		12月		
		1月	3学期	
		2月		
		3月		春休み

そうだ。ただし、学年暦は変わっても、平成 24 年度までの入学者の修了日・卒業日は標準修業年限*を保証するため 3 学期制のままとなるようで、しばらくはなかなか複雑な暦になりそうだ。これに対し、私の周囲では長期休暇の時期が他大学とかぶることにより、インターンシップへの参加がしやすくなったり、帰省して地元の友達に会えたりして良いという意見も、帰省や旅行、合宿等の料金が高くなってしまって嬉しくないという意見も見られた。

2 学期制移行に関してはまだまだ不明な情報も多く、ガイドラインを読んでもわからない点が多い。来年度から開始されるとはいえ、具体的な情報を得られず、多くの学生が期待と不安を持っているというのが現状である。特に、これまでの 3 学期制に慣れ親しんでおり、卒論や就活を控える来年度の 4 年生、3 年生の不安は殊更大きい。直近では、7 月中下旬に平成 22～24 年度学期制の検討報告書が作成され、その後も徐々に新しい情報が開示される予定だ。新体制に期待しながら新たな情報を待ちたい。

(人文・文化学群 日本語・日本文化学類 野川佳奈代)

* 注

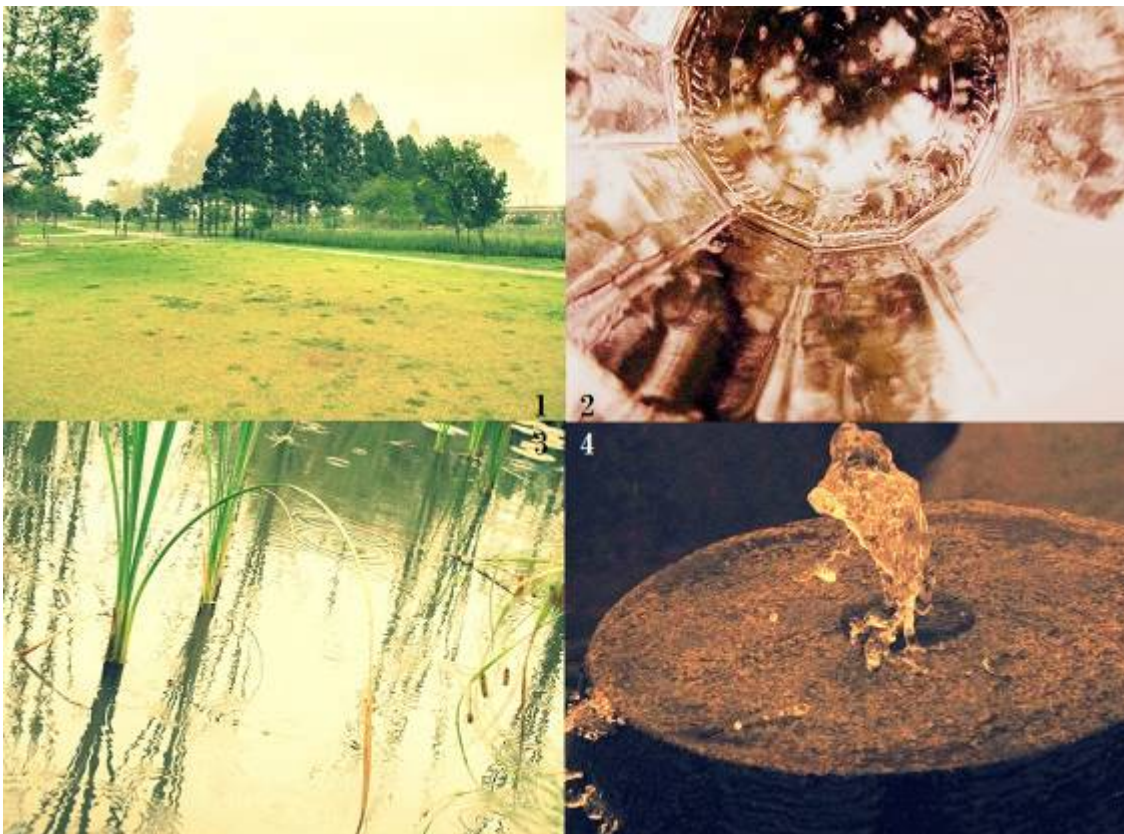
標準修業年限：学士課程 4 年、修士課程 2 年、博士後期課程 3 年、5 年一貫制博士課程 5 年、医学博士課程 4 年、専門職学位課程 2 年、法科大学院課程 3 年

* 2 学期制移行に関する詳細は [こちら](#)

3 ゆるっとつくば～癒され手帖～



みなさま、こんにちは。ゆるっと、です。この「ペデじゃーなる」も、創刊から早一年が経とうとしています。いや、年に四回しか出してないんで、まだ五回目なんですけれど。そんな一周年です。さて、季節は夏、でございます。とはいえ、私がこの原稿を書いているのは、六月十九日、火曜日。夏、というか、なんというか、「梅雨」の季節。に、「癒やし」ね、んなもんあるかと、いらいらした私は、とりあえず雨の降るなか外へ出て、誰もいない、つくばエクスプレス沿線、研究学園駅前公園まで。



雨のいやなところ、外で本が読めないところ、子供たちが遊べないところ。けれど、誰もいない、静かな公園、一人で家に閉じこもるよりは、ちょっとだけ、まし。噴水でつまづきかけて、スカートがびしょびしょになっても、雨が止まないから、気にならん。ゆっくり、夏を、待ってます。

(人文・文化学群 日本語・日本文化学類 小林加奈)

4 国際総合学類、三十路です



お初にお目にかかります。国際総合学類三年の入江郁美と申します。私が所属します「国際総合学類」は、今年で設立30周年を迎えました。「国際関係学類」として発足し、今年で30期生を迎えた「国際総合学類」。国際総合学類を学類生は「国際」と呼んでおり、自称も「国際生」です。私もここでは国際と呼んでいくことにします。メモリアルイヤーに際しまして、この場をお借りしてほんの少し、我々が国際ないし国際生を学生視点から紹介したいと思います。



▲ 3 K 棟

▼ 青 部 屋

まずは変遷です。国際は1995年の学群再編で旧第三学群国際関係学類から社会・国際学群国際総合学類へと名前を変えました。現在でも国際の授業は第三エリアで行われています。A棟B棟C棟…とんでK棟。この3K棟こそが国際生の本拠地です。旧名は国際関係棟です。ここには「青部屋」と呼ばれる学生控室があります。MTや会議や勉強にと、国際生のためのなんでも部屋です。ここでMTを行うのは、国際系サークルという国際生ばかりが所属する団体です。しっかりした団体もあれば、国関〇〇と称するだけのゆる～い団体とピンからキリまであります。また、この部屋には国際生一人ずつに割り当てられたメールボックスまでもが用意されています。まあ週刊少年ジャンプが一冊入る！くらいの引き出しなんですけどね。次は国際生について。まずは「国際生は英語ができる」という



偏見を是正しましょう。なにをもってできる、というのかはわかりませんが、入学時から堪能な人がいる一方で、入学後に英語力を磨いている人は多くいます。英語に接する機会が多いので、必要性にかられて頑張ったり、頑張れなかったり。ペラペラな人ばかりではありませんよ！

次に、「国際総合学類って実際は何を勉強しているの？」実際に国際生にたずねてみると、「国際法」「安全保障」「人類学」「ミクロ経済」「教育」「情報科学」「川」など、十人十色な答えが返ってくるかと思います。国際政治・国際法、経済学、文化・社会開発、情報・環境工学…文系と理系の混在。学内で最も学際的と自称するだけありますね！

もちろん、留学する学生は非常に多いです。学類 HP によれば、国際が留学協定を結んでいる教育機関は 36ヶ国 121機関に上ります。留学、語学研修、海外インターンシップ、海外旅行。形は様々ですが、多くの国際生が海の向こうへ魅力を感じています。大学生ともなると海外に憧れることは珍しくありませんが、国際の制度と風潮、同志の存在はさらなる後押しになっているようです。私の同期も例にもれず、およそ学年の半数が夏を過ぎれば日本にはいません。さみしいですね、国際の夏は、第二の別れの季節なのかもしれません。

最後に、メモリアルイヤーに際して、学期ごとに催される記念行事についてお知らせします。この一学期には卒業生の写真家の方を招いて、1期から30期全員が載る集合写真が撮影されました。縦と横のつながりが強い国際らしい行事ですね。今後どのようなイベントが行われるか楽しみです。

以上、国際ないし国際生のゆるふわ紹介でした。

(社会・国際学群 国際総合学類 入江郁美)

* 詳しくはこちら：[国際総合学類 HP](#)

5 つくば名店レポート



7月に入って本格的に暑さも増し始めた今日この頃、皆さんいかがお過ごしでしょうか?こんな暑い日が続くと、自ずと快適な空間に足を運びたくなるものですね。つくばには数多くの喫茶店があり、ちょっとした安らぎスペースの確保には事欠かないのですが、今回はその中でも僕の家近く、春日4丁目にある落ち着いた雰囲気のコffeeショップ、『Sugaya Coffee』を紹介したいと思います。

このお店、店内でコーヒーを焙煎している本格派、なかに入るとコーヒーの香ばしい香りで満ちており、とても居心地がよい処でした。いかにも喫茶店という感じ。店長の菅谷さん、筑波大学第三学群(現生命環境学群)生物資源学類のOBでもあり、現在はお一人で経営から販売まで行っています。元々あったコーヒーショップを継いで2011年5月から営業している、つくばではとても新しいお店。

焙煎したてのコーヒー豆やラテ等のドリンクが販売されており、筑波大生にも人気らしく、よく訪れてはおしゃべりをして帰って行くのだそうです。そんな空間を創出する店長のお薦めの品は、カフェラテ(¥300)とその時期一押しのコーヒー豆(200g ¥1050~)とのことでした。他にも店長のお知り合いの方のワッフルや、タンブラーなども販売されています。

折角なので、僕もお薦めのカフェラテとワッフルを頂きました。コーヒーの味と香りがしっかりしているのですが苦過ぎず、甘すぎず、なんだかとても飲みやすい。ワッフルとの相性、バッチリです。

この暑い夏の季節、つくばに来られた際には是非、『Sugaya Coffee』に立ち寄って癒しのひとときを感じてみてはいかがでしょうか?



▲ Sugaya Coffee

▲ お薦めのカフェラテとワッフル

(人文・文化学群 日本語・日本文化学類 馬場一将)

店舗情報

営業日：平日 12:00～19:00 土日祝 10:00～18:00 月・火定休日

住所：茨城県つくば市春日 4 - 24 - 19

HP: <http://ameblo.jp/sugayacoffee/>

6 留学生センターへの思い出



日本に留学する前に筑波大学にある「留学生センター」というところに、すごく興味を持っていました。「どんなに面白いところだろう」、「魅力的な活動がいっぱいあるでしょう」ずっとこういうイメージを感じています。今の私は留学生として筑波大学で進学しています。なので、留学生センターとの関係が深くなってきました。

誰も知らない国に来て、誰も知らない大学で進学して、留学生センターが留学生たちにとって、どんなところであるかを身をもってわかりました。まるで自分の「家」のようなところだと思います。勉強の面でも、生活の面でも、困ったことがあったら、留学生センターの先生と相談して、アドバイスとかもらえます。

初めて、留学しにきたとき、一回、道を迷ったことがあります。夜なので、周りが暗くて、どこなのか全然知らなかったです。怖さがだんだん出てきました。その不安な気持ちを持ちながら、人に道を聞いていました。人に聞いているのが自分の住んでいるところではなくて、留学生センターの場所でした。何か留学生センターのところに着いたら、帰る道がわかるような気がします。

もう一つ、留学生センターへの思い出があります。それは今年2月のことでした。私は、12月に2月の帰国チケットを予約しました。しかし、ちょうど帰る2、3日前に筑波大学の研究生期間の終了の申請期間が公布されました。「申請期間中に、まだ中国にいるので、手続きができない。どうしよう。」とすごく心配していました。そのとき、直接に留学生センターに行く余裕もないし、2、3日後に帰らなければならないです。なので、電子メールで自分の困ることを書いて、留学生センターに送りました。わずか3時間ほどを経て、留学生センターから、返信をもらいました。電子メールを見た瞬間に、涙が出てくるほど、ホッとしました。留学生センターの先生にいう通りにして、無事で解決できました。

留学生センターに対して、ずっと感謝な気持ちを持っています。留学生センターがいるから、留学生生活が寂しくないです。

留学生センターがいるから、心強く留学できます。これからも留学生センターへの思い出をいっぱい作ろうと思います。

(人間総合科学研究科 教育学専攻 于淼)

◎7 懐かしのパン、鈴家



ある昼休み。

お腹を空かせたとある男子学生が鈴家のパンを買おうと、チーズメンチを1個、販売員さんに持って行ったところ・・・財布にお金がまったくない！！

男子学生 「あ、すみません、やっぱりやめます 笑」

販売員さん「じゃあ、お金はまた今度返しに来てくれればいいよ。」

男子学生 「いいんですか・・・！？」

その男子学生は後日ちゃんとお金を返しに行ったそう。

という、鈴家のパンにちなんだ筑波大生の心温まるエピソードが有ったりなかったり・・・。

——さて、今回は筑波大生にとって馴染みの深い、鈴家を取材してきました。

鈴家の社長さんに伺ったところ、鈴家は筑波大学が出来てから三十年以上、長く親しまれているそうです。メールを読



まれている方々の多くが、この安くておいしいパンを召し上がっていたのではない

でしょうか？鈴家のパンは、なんだかま

学生で賑わう体芸エリアの鈴家

た無性に食べたくなるおいしさですよね。現在は第一学群・第三学群・体芸エリア・医学群・医学群福利厚生棟・本部棟・総合研究棟Bで購入することができます。

取材のときも鈴家の販売員さんは授業が終わる前からひっきりなしに訪れる学生たちに大忙しです。販売員さんに伺ったところ、一番人気は「玄米サンド」と「チーズメンチ」。この組み合わせは男性がよく買っていくお腹にたまるメニューのよう

です。「ヘルシー（サルサ）」というパンも人気。「サンドウィッチ」は女性がよく買っていくメニューとして人気。甘いパンで一番人気はたっぷりのなめらかなクリームが魅力の「コロネ」だそうです。また、体育芸術エリアでは知る人ぞ知る、限定のパンがあるとか。ミックスという、クルミ・チョコチップ・レーズン・ゴマなどが生地練りこまれたパンの大きいサイズ（日によって違いがあるが、食パン一斤の半分ほど）です。値段は日によって多少の差はあるものの、だいたい350円ほどだそうです。取材に伺ったときにはお目にかかれなかったのですが、週に何回かは購入することのできるチャンスがあるそうです。

鈴家の販売員さんによると、学生から恋愛相談を受けたり、大学を卒業した筑波大生カップルから結婚したというメールをもらったり、在学中の学生はもちろんのこと、卒業してもなお筑波大生との交流があるとのことでした。「入学したものの、やりたいことに違いを感じ別の学類に入りなおして、今では教授になっている方もいるよ。」などなど、お話を伺いました。いつも親切でフレンドリーな販売員さんたちだからこそ生まれている交流なんだなあと、しみじみ感じました。

懐かしい鈴家のパンの味、再び味わってみてはいかがでしょうか？行列の絶えない一学1D棟の鈴家は現在1A棟に移動したので、お間違え無く。

（人文・文化学群 日本語・日本文化学類 関崎美久）



◆ 編集後記

「ペデジャーなる」創刊から早一年…。手探り状態から、
 始まりました！このマガジンが、無事一年を迎え、探りこつてのメンバを、
 一も加わり、本当にありがとうございます。今年7月1日より、筑波大学校友会サイトSNSが、
 今後はさして今年7月1日より、筑波大学校友会サイトSNSが、
 す。今後はさして今年7月1日より、筑波大学校友会サイトSNSが、
 ンした職員の方々の利用、世代を超え、私たちがペデジャー利用、
 いる方を知った用途は様々です。是非是非ご利用ください
 近況…と掲載予定は是非是非ご利用ください
 ナンバーも掲載予定は是非是非ご利用ください
 （※ご利用には登録が必要です）

筑波大学校友会サイト：<https://alumni.tsukuba.ac.jp>

◆ 編集・発行

「ペデジャーなる」編集ワーキンググループ



◆ デザイン・配信作業

人文・文化学群 日本語・日本文化学類 関崎美久
 情報学群 情報メディア創成学類 酒井佑弥

◆ ご意見・問い合わせ先

国立大学法人筑波大学 連携・渉外室
 〒305-0821

茨城県つくば市春日1-8-3筑波大学春日プラザ1階
 TEL 029-853-2030 FAX 029-853-6576
gakuyu@un.tsukuba.ac.jp

◆ 配信停止をご希望の方

下記メールアドレス宛に『配信停止希望』の旨明記し、送信してください。
gakuyu@un.tsukuba.ac.jp

メールマガジンの一部または全部を無断転載することを禁止します。
 Copyright(C) 2012 University of Tsukuba. All Rights Reserved.
